

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-20-2-1

事業名 津波避難誘導灯等整備事業

事業費 総額 4,166,000 円 (国費 3,332,800 円)

設計業務委託費 227,000 円 工事監理業務委託費 135,000 円

工事費 3,804,000 円

事業期間 平成27年度

事業目的

津波避難タワーまでの避難経路上には段差や水路等があるうえ、大規模災害発生時には停電が予想される。津波避難タワーを有効に活用するためにソーラータイプの避難誘導灯及び避難誘導看板の整備を行うことで、津波からの緊急避難体制が強化され、夜間でも近隣住民の安全確保を図る。

事業結果

ソーラータイプ誘導灯及び避難誘導看板の設置

津波避難時の避難経路入口になる県道付近及び経路途中の交差点付近から津波避難タワーへの避難経路に設置。



【始点】

着工前



完成



【終点】

着工前



完成



事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

避難誘導灯を整備したことで、夜間に津波が発生した際に近隣住民を津波避難施設（津波避難タワー）へ誘導する安全性を確保することができ、事業の有用性は高かったと評価する。

② コストに関する調査・分析・評価

誘導灯の選定にあたっては、必要最低限の仕様とし、工事を入札により実施するなど本事業のコストは妥当であると評価する。またソーラー式誘導灯を設置したことで、電気代などのランニングコスト削減に努めたことは評価する。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

業務	想定期間	実績
設計業務	平成 27 年 7 月～ 8 月	平成 27 年 10 月～ 11 月
工事監理業務	平成 27 年 8 月～ 11 月	平成 27 年 12 月～平成 28 年 3 月
整備工事	平成 27 年 9 月～ 11 月	平成 28 年 2 月～ 3 月

申請手続きに時間を要したことから、想定期間より遅れは生じていたが、整備工事において、各工程を同時進行するなど工期の短縮に努め、年度内に事業を完了することができているため、適正であったと評価する。

事業担当部局

総務部 消防防災課 0475-80-1116